

学童が放課後に遊ぶことができ、多世代交流を促進する遊環境を新設 愛知県春日井市 子ども屋内遊び場「ぐりんぐりん」を協業開発 2022年2月1日(火) オープン

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、愛知県春日井市と協業し、2022年2月1日(火)にオープンする子ども屋内遊び場「ぐりんぐりん」を開発しました。

子どものあそびや多世代交流の促進に … 社会インフラとしての「あそび場」を、多くの自治体と開発

昨今、子どもが存分に体を動かして遊べる環境が減少し、子どもの体力やコミュニケーション能力の低下が危惧されています。また、子育て中の親の孤立化も課題となっています。こうした問題を解決すべく、当社は自社の室内あそび場「キドキド」の開発・運営で培ったノウハウを生かし、自治体と協働してこれまで全国に約50カ所のあそび場を開発してきました。これらの施設は子育て中の親と子に加え、幅広い世代の方々が交流するきっかけとなり、地域のコミュニティのハブとして、街の活性化にも寄与しています。

愛知県春日井市：社会情勢の変化に伴う家庭環境の変化を受けて、子育て支援を拡充・推進

愛知県春日井市は、名古屋市の北部と隣接する、人口約31万人の都市です。交通アクセスが良好で、日本都市公園100選に選ばれた「落合公園」や「花と緑の都市緑化植物園」などの自然豊かな場所もあることからベッドタウンとして人気の街です。

春日井市では、地域の保育・教育支援を推進する「子ども・子育て支援新制度」の整備を進めています。昨今、少子化に加えて、核家族化や共働き家庭の増加など子育て環境も変化し、地域で子育てを見守る体制づくりや、児童が放課後に過ごせる環境整備のニーズが高まっていました。こうした状況を踏まえ、2020年より新たに「第2次新かすがいっ子未来プラン」を策定し、地域の子育て支援や、保育・教育のサポートを拡充。その取り組みの一環として、この度当社と協業し、緑豊かな落合公園の中にある施設「グリーンパレス春日井」の2階に、天候に左右されず親子で利用できる子ども屋内遊び場「ぐりんぐりん」を開発しました。



子ども屋内遊び場「ぐりんぐりん」：市民の憩いの公園に遊環境を拡充し、放課後の子どもの居場所に

子ども屋内遊び場「ぐりんぐりん」は、グリーンパレス春日井の「グリーン」と、英語で「にっこり笑う」という意味の「グリン」をかけあわせて名付けられました。市民の憩いの場である落合公園の中に開設することで、親子がこれまで以上に園内を行き交い、多様な世代の方々が交流するきっかけが生まれ、地域で子育てを見守るハブとなるような施設を目指して開発しました。常駐するプレイリーダーが子どもの発達や興味に沿った多種多様なあそびを提案し、あそびが発展するよういざないます。また、学童期の子どもが放課後に過ごせる場所となるよう、当社がプロデュースする行政のあそび場で初めて、小学生以上は保護者同伴でなくても利用できる運営体制としました。

施設は、「ベビーエリア」「ロールプレイエリア」「アクティブエリア」「チャレンジエリア」の4つのエリアで構成。子どもたちの発達に沿った、興味や意欲を引き出すような遊具やしかけを揃え、存分に頭や身体を動かして遊び、あそびのなかで自発性も育つように設計しました。また、内装には春日井市の特産品である「春日井サボテン」をあしらったデザインも施し、地域への理解や愛着を育む工夫も散りばめました。中央には授乳室や調乳用温水器、おむつ交換室、自販機を完備した交流・飲食エリアを設け、子どもがたっぷり遊んだ後にクールダウンしたり、子どもを見守りながら大人同士も交流できるような空間作りを行いました。

● ベビーエリア

はいはい・よちよち歩きの赤ちゃんが、安心して遊べるゾーンです。赤ちゃんの目線で見え隠れするように遊具を配置することで好奇心を喚起し、エリア内を自然に動き回って遊ぶよう導線を工夫しました。つかまり立ち、いないいないばあ、トンネルくぐり、ボールプールなど、月齢ごとに楽しめる、赤ちゃんの五感を刺激するあそびやしかけが揃っており、訪れるたびに赤ちゃんの成長を実感できる空間となっています。



● ロールプレイエリア

じっくり考えるあそびや、ブロック遊び、ごっこ遊びなど、創造的な思考や社会性を育む遊具や舞台があるエリアです。親子や子ども同士で会話しながら、自分の考えや表現を深めて楽しめるあそびが揃っています。



● アクティブエリア

やわらかいマットや回転遊具などを使い、安心・安全に思いっきり身体を動かして遊べるエリアです。次から次へつながるあそびの導線が、エリア全体を回遊するように張り巡らされており、スピードを出して駆けたり、慎重にバランスを取りながら渡ったりと、運動の基礎となる多様な動きが体験できます。



● チャレンジエリア

少し難しい身体の動きに挑戦したい学童期の子どもたちのために、自分の腕や脚の力を存分に使って、より高く登ったり、より遠くへ跳んだり、チャレンジを楽しめるエリアです。何度もくり返し挑戦し、夢中で遊んでいるうちに、高度な体の動かし方が自然と身につき、できたときの達成感を味わうことができます。



愛知県春日井市 子ども屋内遊び場「ぐりんぐりん」概要

- 所在地：愛知県春日井市東野町字落合池1番地2 グリーンパレス春日井2階
- 施設面積：約1200㎡
- 利用可能時間：3クール制 ①9:00～11:30 / ②12:30～15:00 / ③15:30～18:00
- 休場日：月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)
- 利用対象者：0歳～小学生とその保護者 ※定員あり ※小学生未満のお子様は、保護者の方の同伴必須
- 利用料：1人1回100円 ※3歳未満のお子様及び保護者の方は無料
- 開業日：2022年2月1日(火)
- 予約サイト：<https://kasugai-guringurin.rsvsys.jp/>
- 運営管理：株式会社日本デイケアセンター

行政と協業したあそび場の開発 事例紹介（京都府）

京都府宮津市：子育て支援センター「にっこりあ」（2017年11月オープン）



宮津市では、地域に住む就学前の子どもを持つ子育て世帯の暮らしをより豊かなものにするため、市内唯一の商業施設内に、地域密着型のあそび場施設「子育て支援センター「にっこりあ」」を開設しました。多種多様な遊具で子どもが思う存分体を動かして遊べるのはもちろん、定期的なイベントを開催し、繰り返し訪れても飽きのこない、子育て支援の拠点施設を目指しています。また、親子の生活の相談役として保育士が常駐したり、休憩スペースや子育て相談室が併設されるなど、育児サポートも充実しています。人口1.7万人の市で、3年間で約10万人が来場し、子育てに欠かせない場となっています。

京都府京都市西京区：「京都市交流促進・まちづくりプラザ」（2020年9月オープン）



京都市は、阪急電鉄とともに阪急洛西口駅～桂駅間の線路の高架化事業により生み出される空間を活用し、西京区エリア全体の活性化を目指す「洛西口～桂駅間プロジェクト」に取り組んでいます。同プロジェクトの一環として、豊かで活力ある地域社会の形成を目指す「京都市交流促進・まちづくりプラザ」を、市と協働して開発しました。2024年3月末まで当社が指定管理者となり、京都市や地元のNPOと協力しながら市民の交流や子育て支援、イベントや講座を当施設で企画実施し、「あそび」で人と人、さらに人とまちをつなぐ取り組みを推進しています。オープン以来、半年で、約2万人の市民に利用されています。

【ボーンランドについて】

ボーンランドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国63ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では全国17ヶ所、年間約200万人、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国約50ヶ所、年間350万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーンランド 広報部
担当：西山、村上
TEL：03-5785-0860、080-5901-3591
e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーンランド
TEL：03-5785-0860(月～金 10:00～17:00)